

令和2年度 第1回学校評議委員会記録

日時：令和2年6月24日（水）

14：00～15：00

会場：本校視聴覚室

- 1 開会のことば
- 2 校長あいさつ
- 3 学校評議員紹介
- 4 学校職員出席者紹介
- 5 学校概要説明
 - (1) 令和2年度 学校概要
 - (2) 学校経営計画
 - (3) 各学部の取組について
 - (4) 令和元年度の外部支援と令和2年度の外部専門家活用について
 - (5) 高等部進路支援の取組について
 - (6) その他
- 6 意見交換（各評議委員からのご質問・ご意見）

山内 雄幸 評議員

先生方の報告を聞いて、新型コロナ感染症対策で難しい中、対応していただいていると感じた。校長先生から「やらない」ではなく、「やる前提」でやれることを探るとのこととつながっていて、子供たちは恵まれていると感じた。

高橋 賢誠 評議員

療育センターの新型コロナ感染症対策に関する制限で、学校の教育活動に迷惑をかけているかもしれない。今後とも連携を密に取っていきたい。

佐々木 徳興 評議員

身近に障がい者がいないということで、一般の方は学校のことをほとんど分からないのではないかと。見学をして、いろいろな子供たちがいるということが分かった。隣の学校には元気に走り回る子供たちがいる中で、障がいをもった子供がいることを常に考えていなければならないことだが、理解しにくい。どうしたら理解してもらえるのかと感じた。

小山田 孝 評議員

矢巾東小学校3年目で、評議員も3年目である。となん支援学校では丁寧なきめ細かな指導をしていると承知しており、私の方が学ばせて頂いている。

新型コロナ感染症予防で休校や行事が延期になり、子供たちの様子で何か影響が出てきていないか気になる。本校では、休校や行事の延期等が直結

しているかどうか分からないが、精神面や家庭的土台で不安を抱えている子供に、落ち着かなかったり学校や学習に向かう意欲に、若干いつもと違う様子を感じていた。矢巾町内の学校でもその様な傾向があると聞いたので、となん支援学校はどうかと思いながら参観させてもらった。

本校では、生徒指導を中心に挨拶に力を入れている。毎日、200人程の児童が学校前の横断歩道を渡って登校している。今年は「どこでも」挨拶ができることを目指しているので、隣の学校の先生という立場で子供たちにどんだん声をかけてほしい。

鈴木 しのぶ 評議員

今年はイレギュラーなことばかりで先生方は大変だろうと思うが、そんな中でも子供たちにきちんと対応して頂いてありがたい。

校長

地域と学校との関わりを、何らかの形で進めていければと思う。

挨拶については、よい手本を示すという意味でもこちらからも発信する。

水泳の学習に関わる新型コロナウイルス感染症対策として、盛岡工業高等学校の協力を得て、職員が水泳用のマスクを着用して支援する。

これからも、皆様のご協力を頂ければと思う。

7 その他

8 閉会のことば